

# 『天使の相談室』

## ～フィロソフィカル・カウンセリング～

### 【目次】

#### 第一章 女性と家庭のあり方について

- ・「愛ある家庭を育むには」
- ・「周りに本当の調和をもたらしてゆく女性となるためには」
- ・「これから理想的な家庭を築きあげていくためには」
- ・「失われかけている夫婦の絆を取り戻すためには」
- ・「伝統的な家制度と儒教道徳の考え方について」
- ・「肉体的な調和を保ってゆくためには」
- ・「自分のエネルギーを充実させるためには」

#### 第二章 自分の夢を実現するために

- ・「自らの理想と現実のギャップを埋めてゆくためには」
- ・「希望をもちつづけるためには」
- ・「本当の自信を持って 人生に臨んでゆくためには」

- ・「本当の自分自身を知る方法とは」
- ・「自らの夢がまだ漠然としている時の心構えについて」
- ・「自分の人生の夢を見つけるには」
- ・「プロの音楽家を志す子供達へのアドバイスの仕方とは」
- ・「神秘的な美を追求するためには」
- ・「芸術的感性を磨くには」

### **第三章 すばらしい対人関係を築くために**

- ・「心の傷を癒してさしあげるには」
- ・「あらゆる方々とうまく接してゆくためには」
- ・「人前ではどうしても自然体でいられない自分への対処法について」
- ・「他人に対する恐怖心をなくしてゆくためには」
- ・「自らを傷つけた方を心から許してゆくためには」
- ・「様々な人との出会いの意味とは」
- ・「心を固く閉ざしてしまっている方への接し方について」
- ・「友情をとり戻すには」
- ・「許す愛と悪を糺すことについて」

### **第四章 よりよい仕事を達成するために**

- ・「魅力ある人格を創り 仕事を成功させてゆくためには」
- ・「日々新たな人間関係をもって仕事をしてゆくためには」
- ・「日々 心を調律するためには」
- ・「目先の利益にとらわれない生き方とは」
- ・「仕事の上で現場感覚を磨くために注意すべき点とは」
- ・「時間の感覚と計画の立て方について」
- ・「一日の目標を達成してゆくためには」
- ・「本当に相手の方の心を掴むためには」

## 第五章 心の悩みへの対処法について

- ・「過去の心の傷への対処法について」
- ・「精神的な悩み多き学生に対する対応の仕方について」
- ・「孤独感を克服し 真なる向上心を見出すためには」
- ・「感情に執われない寛容な心を築くには」
- ・「どのような時も常に平常心を保ち続けるためには」
- ・「大らかな人生を過ごすには」
- ・「心の中に生じた執着を取り除いてゆくには」
- ・「心の中の安定を保ってゆくには」

## 第六章 聖なるものを求めて

- ・「信仰心と祈りが本当に大切である理由とは」
- ・「素直な心を持ち続けるためには」
- ・「全世界から争いをなくすためには」
- ・「徳を積める心の持ち方とは」
- ・「日々の反省を習慣にするには」
- ・「思いを集中して反省するには」
- ・「真理の教えを実践するには」
- ・「日々 定を保ち続けるためには」
- ・「新生の決意を持続するには」

## 第七章 愛のメッセージ

- 一、「人に裏切られた時に」
- 二、「失敗の時に」
- 三、「小さな不幸に執われている時に」
- 四、「恋愛で葛藤した時に」
- 五、「病弱な時に」
- 六、「貧しい時に」
- 七、「恋愛のはかなさに悩んでおられる時に」

- 八、 「人間が醜くみえる時に」
- 九、 「恨みの心に執われた時に」
- 十、 「嫉妬心に執われた時に」
- 十一、 「三角関係について悩んでおられる時に」

## 第八章 反省をあなたに ～人格の条件～

- 一、 「名譽に執われた時に」
- 二、 「地位欲に執われた時に」
- 三、 「支配欲に執われた時に」
- 四、 「異性に執われた時に」
- 五、 「金錢に執われた時に」
- 六、 「物欲に執われた時に」
- 七、 「焦りに執われた時に」
- 八、 「自己顯示に執われた時に」
- 九、 「怒りに執われた時に」
- 十、 「裁きの心に執われた時に」
- 十一、 「劣等感に執われた時に」
- 十二、 「自己憐憫に執われた時に」
- 十三、 「嫉妬心に執われた時に」

- 十四、「悪口批判に執われた時に」
- 十五、「憎しみに執われた時に」
- 十六、「恨みに執われた時に」
- 十七、「不平不満に執われた時に」
- 十八、「失敗に執われた時に」
- 十九、「不安に執われた時に」
- 二十、「自慢に執われた時に」
- 二十一、「増長慢に執われた時に」
- 二十二、「自己不信に執われた時に」
- 二十三、「人間不信に執われた時に」
- 二十四、「孤独感に執われた時に」
- 二十五、「厭世観に執われた時に」
- 二十六、「恐怖心に執われた時に」